

電気ケトル

EDK-1000K

取扱説明書



保証書付

- このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

目次

安全上のご注意	3
各部の名称	6
ふたの開け方・閉め方	7
使い方 お湯をわかす	8
使い方 お湯を注ぐ	11
お手入れの仕方、消耗品のお買い求めについて	12
故障かな？と思ったら	14
仕様、保証とアフターサービス	15
保証書	裏表紙

お願い

箱から製品を取り出したとき、蒸気口周辺や内容器に水が付着していることがあります。これは、湯わかし検査などを行っているためで、水分を十分ふき取っていても製品内部などに残っている若干の水分が出てくるためです。初めてお使いになるときは、一度お湯をわかし、お湯をすててからご使用ください。

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味



してはいけない「禁止」内容です。



しなければならない「強制」内容です。



警告



禁止

●修理技術者以外は、絶対に分解・修理・改造をしない。

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
修理はお買い上げの販売店または弊社アイリスコールにお問い合わせください。

●水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電のおそれがあります。

●子どもだけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。

感電・やけど・けがのおそれがあります。

●注ぎ口に手を触れたり、顔を近づけたりしない。

やけどのおそれがあります。
特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。

●注ぎ口をふきんなどでふさがない。

湯がふきこぼれて、やけどのおそれがあります。

●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。

感電やけがをする原因になります。

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。

感電・ショート・発火の原因になります。

警告

 禁止	●電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	●電源コードを高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	●満水表示以上の水を入れない。 湯がふきこぼれて、感電・やけど・けがのおそれがあります。
	●本体を傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動しない。 湯が流れ出て、やけどのおそれがあります。
	●ケトルを転倒させない。 湯がふきこぼれて、やけどのおそれがあります。
	●水以外のものをわかさない。 お茶・牛乳・酒などは、わき上がるときにふき出して、やけどのおそれがあります。
	●氷を入れて保冷用に使わない。 結露が生じ、感電・故障のおそれがあります。
	●直火（ガス台など）や電磁調理器（IHクッキングヒーターなど）、電気ヒーターなどの上にのせない。 火災の原因になります。
 必ず実施	●本体接続部・電源プレート接続部（金属部）にピンなど金属片やゴミを付着させない。 感電・ショート・発火の原因になります。
	●電源は交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う。 火災・感電の原因になります。
	●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは、乾いた布でよく拭き取る。 湿気などで発火・絶縁不良の原因になります。
	●電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	●ふたは確実に閉める。 湯が流れ出て、やけどのおそれがあります。

注意

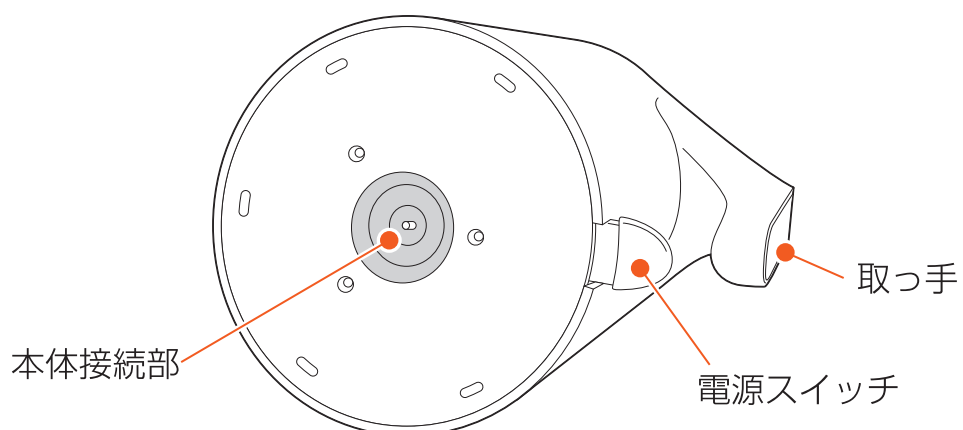
 禁止	●壁や家具の近くで使わない。 蒸気や熱で壁や家具を傷め、変形・変色の原因になります。
	●使用中や使用後しばらくは高温部に触れない。 やけどの原因になります。
	●ふたを開けるときは出る蒸気に触れない。 やけどの原因になります。
	●不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない。 火災の原因になります。
	●湯わかし中は移動させない。 湯が流れ出て、やけどのおそれがあります。
	●湯わかし中は湯を注がない。 湯が飛び散り、やけどの原因になります。
	●専用の電源プレート以外は使用しない。 また、電源プレートは他の機器に転用しない。 故障・発火のおそれがあります。
 必ず実施	●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く。 電源コードが断線し、感電・ショート・発火の原因になります。
	●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。 電源プラグをコンセントに差し込んだまま、電源プレートのみを放置しないでください。 絶縁劣化による漏電により、火災・感電の原因になります。
	●お手入れは冷えてから行う。 高温部に触れると、やけどの原因になります。

各部の名称

- 本製品は、本体と電源プレートのセパレート式になっています。
- 電源スイッチを入れないと作動しません。また、本体を電源プレートからはずすと、電源スイッチは自動的に切れます。
- お湯がわくと自動的に電源スイッチが切れます。
- 空だきをすると、本体内の安全装置が作動して、電源スイッチが自動的に切れます。



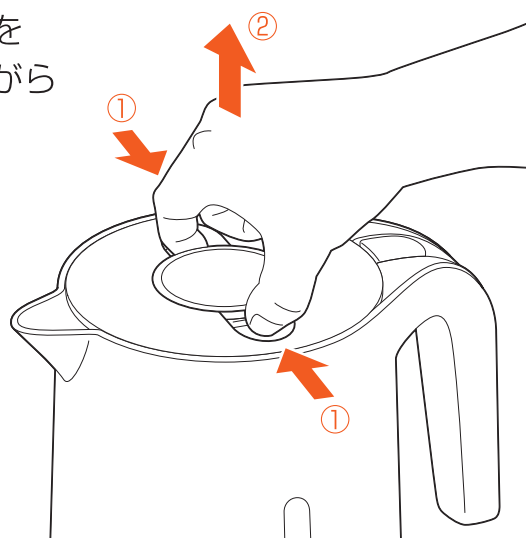
本体底面



ふたの開け方・閉め方

開け方

- ふた開閉レバーを
①指ではさみながら
②引き上げる



閉め方

- カチッと音になるまで
上から押して閉める

⚠ 注意

湯わかし中や沸とう直後はふたを開けないでください。やけどのおそれがあります。

使い方

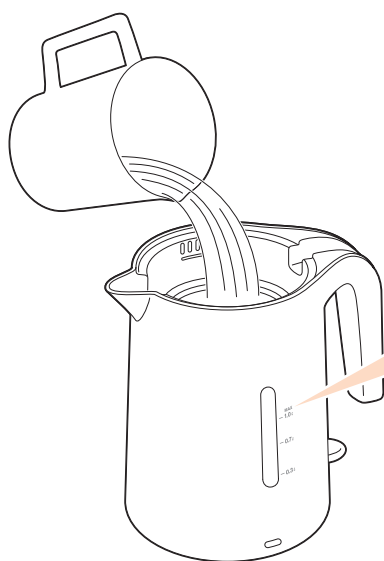
■お湯をわかす

初めてお使いになるときや、長時間お使いにならなかった場合は、一度お湯をわかし、お湯を捨ててからご使用ください。

1 水を入れ、ふたを閉める

ふたを開け、別の容器で本体に必要な量の水を入れ、ふたを閉めます。

水を入れる

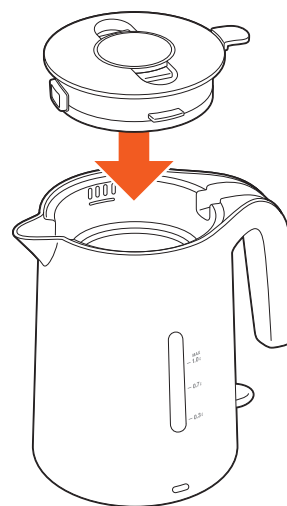


注意

満水表示以上
水を入れない

ふたを閉める

カチッと音になるまで
きちんと閉める



注意

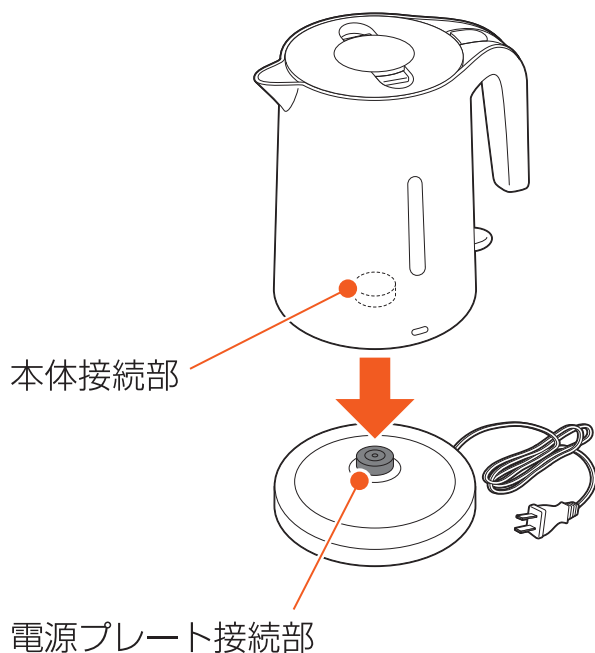
- 電源プレートの上に本体をのせたままで水を注ぐことはおやめください。
- 蛇口から直接水を注いだり、流し台に置いて底面をぬらさないでください。
本体に水が入り故障の原因になります。
- 満水表示以上水を入れないでください。
注ぎ口からお湯がふきこぼれるおそれがあります。
- 水以外のものは入れないでください。
- ふたがきちんと閉まっていることを確認してください。
ふたがきちんと閉まっていないとお湯がわいても電源スイッチが切れない場合があります。

ミネラルウォーター・アルカリイオン水の使用について

一部のミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用すると、水面に細かな浮遊物がみられたり、内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分（ミネラル分）であり、有害ではありません。

2 電源プレートにのせる

本体接続部と電源プレート接続部が合うように正しくセットしてください。

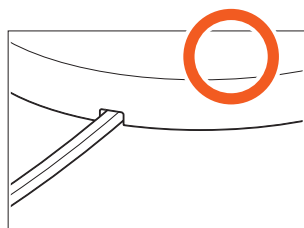


⚠ 注意

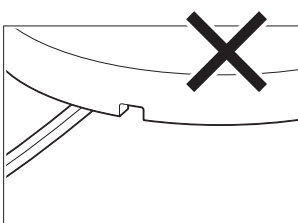
- 本体接続部と電源プレート接続部にゴミやほこりが付着していないことを確認してください。
- 専用の電源プレート以外は使用しないでください。

電源コードの長さ調節について

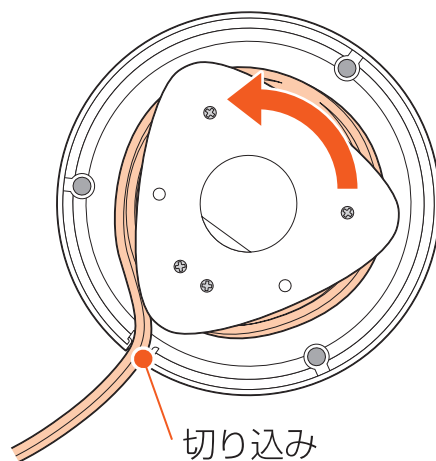
電源コードを電源プレートの底面に巻きつけて長さを調節し、切り込みから外に出してください。



切り込みから
コードを外に出す



コードの上に
プレートをのせない



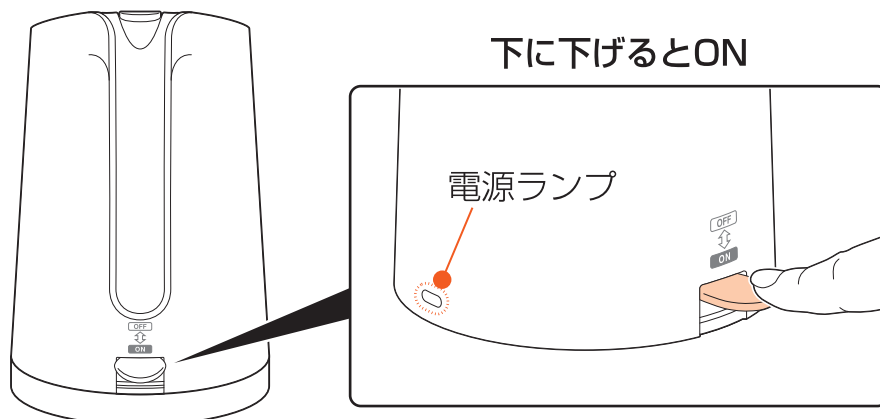
3 電源プラグをコンセントに差し込む

⚠ 注意

定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。

4 電源スイッチを入れる

電源ランプが点灯し、湯わかしを開始します。



沸とう時間の目安

約6分25秒

※室温・水温 23℃、
満水時の参考値

⚠ 注意

- お湯をわかしている最中や沸とう直後は、絶対にふたを開けないでください。また、注ぎ口から蒸気が出ている間はお湯を注がないでください。やけどのおそれがあります。
- 注ぎ口から出る蒸気に注意してください。

湯わかしが完了すると、自動的に電源スイッチが切れます。

電源ランプが消灯します。

※お湯がわく前に電源を切る場合は、
電源スイッチを指で戻して OFF にしてください。

湯わかし後の保温機能はありません。

湯わかし完了後放置するとお湯は冷めます。

⚠ 注意

- 湯わかし完了直後は、本体が熱くなっていますのでご注意ください。

5 湯わかし完了後は電源プラグをコンセントから抜く

■お湯を注ぐ

沸とう状態がおさまってからお湯を注いでください。

- 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源プレートからはずします。取っ手を持ち、給湯レバーを押しながら傾けてお湯を注ぎます。

⚠ 注意

注ぎ口からお湯が出ている時に給湯レバーから指を放さないでください。
お湯が飛び散り、やけどのおそれがあります。



- 使用後はお湯を残さず、容器内を空にしてください。

水の注ぎ足しを繰り返して長時間使用すると、水アカが付着したり、お湯が変質することがありますので、1日1回は残り湯を捨ててください。

⚠ 注意

- 沸とう直後にふたを開けないでください。やけどをすることがあります。
- 残り湯を捨てるときも注ぎ口から捨ててください。
ふたを開けてお湯を捨てるとお湯が飛び散りやけどのおそれがあります。

- ケトル使用後しばらくすると、「カチン」と音がすることがありますが、これは熱せられたプラスチックや金属部分が冷めるときに発生する音ですので、異常ではありません。
- 電気ケトルは蒸気を検知してスイッチが切れる仕組みになっています。この蒸気が本体底から垂れることがありますが、故障ではありません。

空だき防止機能

容器内が空の状態では電源スイッチを入れると、空だき防止機能がはたらい、電源が自動的に切れます。

その際は、ケトル本体を電源プレートから外し、容器が十分に冷めてから水を入れ、再び電源プレートにのせて電源スイッチを入れ直してください。

お手入れの仕方

■ 本体外側・電源プレート

よく絞ったふきんで拭き取る

取れにくい汚れは、薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませて拭き取ってください。



⚠ 注意

- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、残り湯を捨て、本体が冷めてからおこなってください。
- みがき粉・たわし・シンナー・ベンジン・漂白剤などは使用しないでください。
- 丸洗いは絶対にしないでください。また、本体接続部・電源プレート接続部に水をかけないでください。
- 食器洗い乾燥機での洗浄・乾燥はしないでください。変形・破損の原因になります。

■ 本体内側

ぬれた柔らかいスポンジなどで洗い、水ですすぐ

- 赤さび状の斑点（もらいさび）や、乳白色・黒色などの変色、白い浮遊物がある場合は、以下の方法でクエン酸洗浄をしてください。

- ① 水を満水表示まで入れ、クエン酸（市販品）約30gを入れて混ぜる
- ② ふたを閉めて電源プラグを接続し、お湯をわかして約1時間放置する
- ③ お湯を捨て、水で十分すすぐ
- ④ 再度お湯をわかし、そのお湯を捨てる

■ 本体接続部・電源プレート接続部・電源コード

乾いたふきんで汚れを拭き取る

消耗品のお買い求めについて

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご連絡いただき、お買い求めください。
パッキンは、ふたパッキンと止水弁パッキンの2種があります。

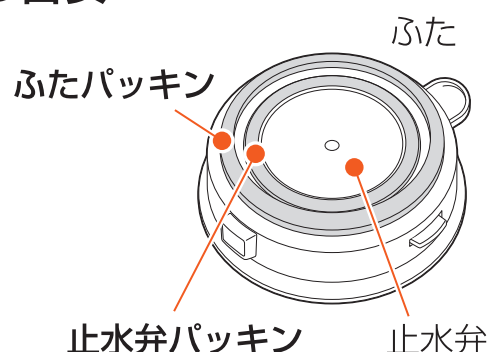
■ ふたパッキン・止水弁パッキンの交換の目安

1年を目安に確認し、
下記のようになってきたら交換してください。

- パッキンの汚れや破損がひどくなった
- ふたのすき間から蒸気がもれ出した

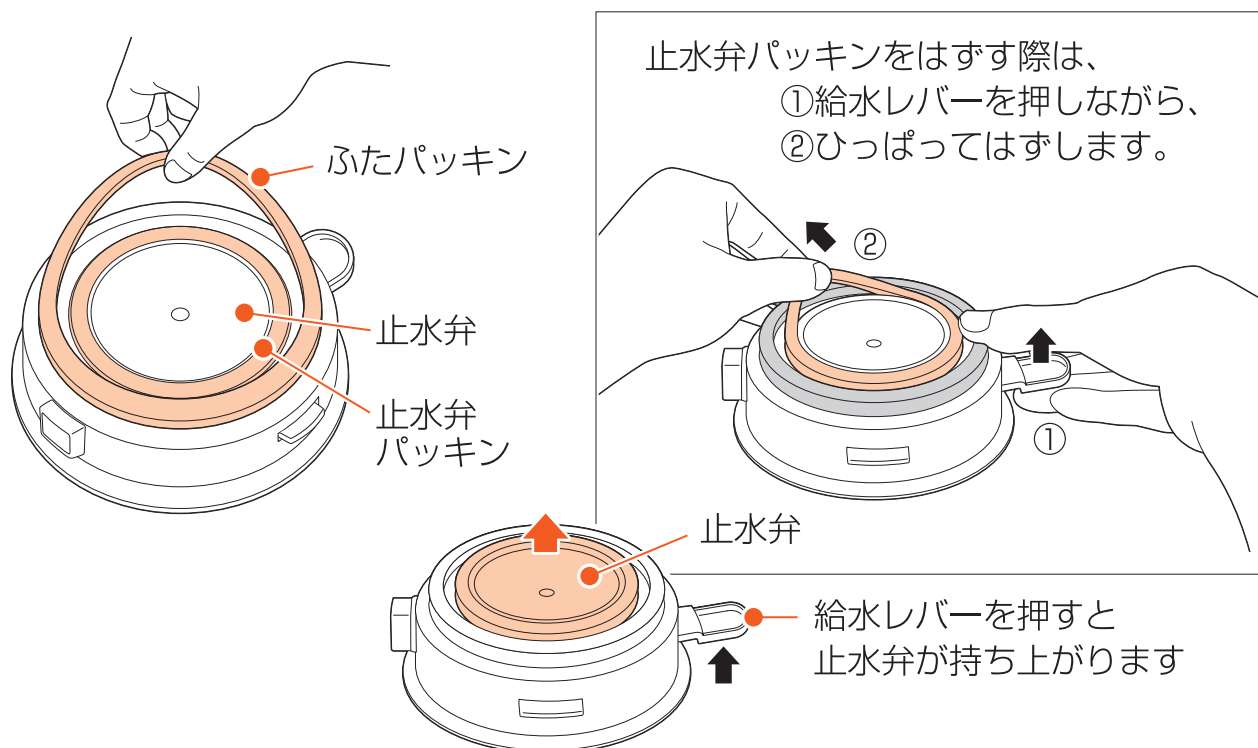
⚠ 注意

- そのまま使用しますと、やけどのおそれがあります。



■ふたパッキン・止水弁パッキンの交換のしかた

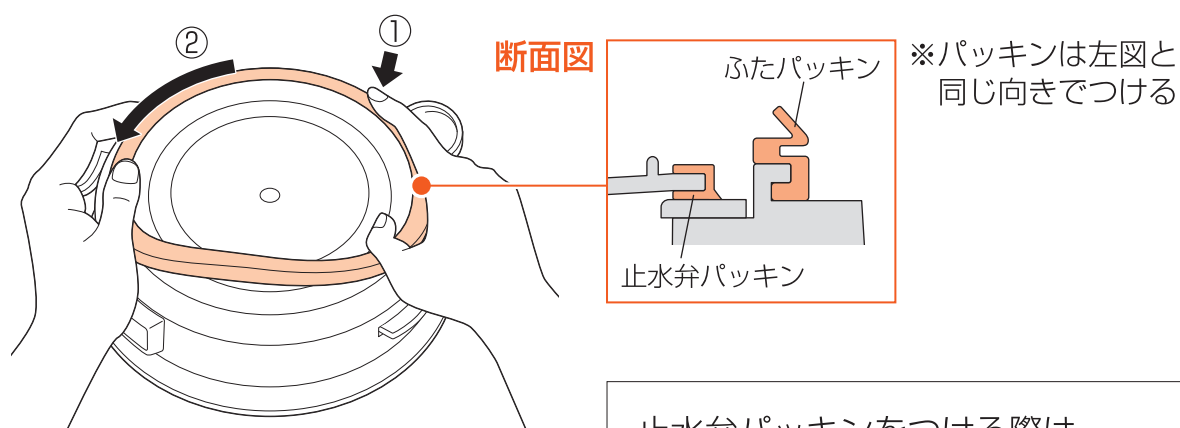
はずす パッキンをひっぱってはずします。



⚠ 注意

- 止水弁などの部品を、ふたからはずさないでください。
蒸気もれやお湯のふきこぼれ、やけどのおそれがあります。
- ふたパッキン・止水弁パッキンを交換しても蒸気がもれたり、お湯がふきこぼれるときは、その他の部品が傷んでいる場合があります。
アイリスコールへお問い合わせください。

つける 新しいパッキンを、溝にはめこみます。



- ① 溝にひっかけて止め、
- ② 指でなぞるようにはめ込みます。

止水弁パッキンをつける際は、
はずす時同様、給水レバーを押しながら
取りつけてください。

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置
電源ランプが つかない	●電源プラグが抜けている	●電源プラグをコンセントに差し込む
	●本体が電源プレートに正しく のっていない	●正しくのせる
	●電源スイッチが ON になっていない	●ON にする
	●電源プレート接続部に 金属片やゴミが付着している	●金属片やゴミを取り除く
	●空だき防止機能が はたらいている	●ケトル本体を電源プレートから外し、 容器が十分に冷めてから水を入れ、 再び電源プレートにのせて 電源スイッチを入れ直す (P11)
注ぎ口からお湯が 自然に出る	●水を満水表示以上入れている	●水を満水表示以下に減らす
使用後しばらく すると音がする ことがある	●熱せられた部品が冷める音で、 故障ではない	●そのまま使う
本体底から 水滴が垂れる	●蒸気を感じて電源が切れる 仕組みになっているため、 その蒸気が本体底から垂れる ことがあり、故障ではない	●そのまま使う
お湯の中に白い 浮遊物がある	●水のミネラル分によるもので、 腐食ではない	●クエン酸で本体内側をお手入れする (P12)
本体内側に乳白色の ザラザラしたもの がつく	●水アカなどの汚れで、 腐食ではない	●クエン酸で本体内側をお手入れする (P12)
本体内側に赤さび状 の斑点がつく	●水の中の鉄分によるもので、 腐食ではない	●クエン酸で本体内側をお手入れする (P12)

それでも解決できないときは

ご購入の販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

電 源	AC100V (50/60Hz共用)
消 費 電 力	1000W
製 品 重 量	約950g
容 量	1.0L
コ ー ド 長	1.2m
製 品 寸 法	幅約200×奥行約150×高さ約200 (mm)
主 要 材 質	ポリプロピレン、ABS樹脂、他

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

MADE IN CHINA

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買上げの際に、所定の事項が記入されている保証書を販売店より必ずお受け取りください。保証書がありませんと、無料修理保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、お買上げ日より1年間です。
無料修理保証期間中に故障が起きた場合は、保証書をご提示の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。詳しくは、保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

お求めの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、最低5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについてご不明な点は

お買上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

電気ケトル EDK-1000K

保証書

本書はお買い上げ日から下記期間中に故障が発生した場合には、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※	年 月 日	保証期間	お買い上げ日より：1年間
お客様	ご芳名		
	ご住所 〒 TEL () -		
※ 販売店	住所・店名		
	電話		

当商品の保証書にご記入されたお客様の個人情報、商品の修理・交換の商品発送のみに使用し、それ以外に使用したり第三者に提供することは一切ございません。

販売店さまへ

※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料修理致します。お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 保証内容は無料修理（製品に限る）のみとさせていただきます。その他の保証は致しかねます。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ②お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
 - ③火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④納品後の移動、輸送又は什器備品等との接触による故障及び損傷
 - ⑤本書の提示がない場合
 - ⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効となります。
- 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

お問い合わせはお気軽にアイリスコールに
アイリスコール 受付時間 9:00～17:00

0120-311-564

P251210-024-OKW
P280513-LXD